

コンゴ（共）月例報告

2018年7月

【ポイント】

- 6日、国家開発計画（PND）2018-2022が閣議承認された。
- 17日、モコキ経済特区大臣は馬中国大使と面会し、ポワント・ノワール経済特区開発に係る合意が9月の中国・アフリカ開発会議（FOCAC）の機会に署名予定であることを明らかにした。
- 26日、ブラザビル市内チャコナ地区の刑務所内で、13名の若者が死亡する事件が発生した。
- 27日、プール県における武力衝突の中心人物であったントゥミ牧師への逮捕状が、裁判所により正式に取り下げられた。

◎特にソースが明記されていない場合は、「Les Dépêches de Brazzaville」、「les échos du Congo Brazzaville」、「ICI BRAZZA」、仏通信（AFP）及び仏ラジオ国際放送局（RFI）による

1 内政

（1）サリサ議員の逮捕は恣意的との判断

・ 25日、国連人権理事会（OHCHR）の恣意的勾留に係るワーキンググループは、2016年に大統領選挙に立候補し、戦争犯罪の罪に問われ拘束されたアンドレ・オコンビ・サリサ議員に関し、18か月間の勾留は恣意的かつ違法であるとの考えを明らかにし、政府に釈放を求めた。

（2）チャコナで拘留中の若者13名が死亡

・ 26日、ンブル内務大臣は、ブラザビル市内のチャコナ地区にある刑務所内において、拘留中の若者13名が死亡したことを認めた。ただし、その詳しい状況については明らかにしなかった。現在、検察及び警察当局が捜査を行っている。

（3）汚職対策

・ 31日、汚職対策委員会は2018年1月～4月についての調査結果をまとめたレポートを発表し、その中で、チカヤ石油大臣が公共資金を不正に利用した2件の疑惑について言及した。2件とは、アフリカ石油生産国機構（APO）のブラザビル本部建設に充てられた13.2億FCFAと、同省の人材育成に充てられた17億FCFAに係るもので、ンゲレ委員長は、司法捜査を行う可能性もあると述べた。

2 プール県情勢

（1）ドンベ記者の仮釈放が決定

・ 2日、裁判所は、2017年1月にントゥミ牧師と反乱を共謀した罪で逮捕されていたギス・フォーチュネ・ドンベ記者を仮釈放することを決定した。

（2）ントゥミ牧師への逮捕状取り下げ

・ 27日、裁判所は正式にントゥミ牧師及び2名の側近（シルバン・リチャード・ビンタム及びエリー・マランダ）に対する逮捕状を取り下げることが決定した。ントゥミ牧師はこの決定を評価するとともに旧戦闘員に対して武器を放棄するよう呼びかけた。内務省は、8月7日から25日にかけて武器回収を実施する予定。

3 経済

(1) 国家開発計画 (PND) 2018-2022

・ 6日、ムアンバ首相は、閣議を行い、国家開発計画 (PND) 2018-2022を承認した。同計画は今後、閣僚評議会及び国会での承認を経て成立する。なお、同計画は、①教育・職業訓練を通じたヒューマンキャピタルの重視と質の高いインフラの整備、②農業・漁業・観光を中心とした経済多様化と産業化の二本柱で構成されている。

・ 20日、サス・ンゲソ大統領同席の下、閣僚評議会にてPNDが承認された。同計画は6文書 (基調となる開発戦略、優先分野、公共投資、マクロ経済・予算枠組に係る中期計画、PNDのフォローアップ及び評価に係る計画、PND実施手続に係るガイドライン) から成る。

(2) 2018年の経済成長率は1.9%の見込み

・ 12日、ガノンゴ財政・予算大臣が主催する国家金融評議会の今年2回目となる会議において、2018年のコンゴ (共) の経済成長率が1.8%となる見込みであることが発表された。2017年の-2.7%に比べ大きく改善する見込みであるが、その要因は、原油価格の上昇による石油セクターの成長 (12.3%) によるものとした。なお、非石油セクターの成長率は-4.6%と依然低迷している。

(3) 他国企業の動向

ア 中国企業

・ 19日、中国系鉱山企業の Luyan コンゴ鉱山社 (Luyan Shandong 社の子会社) は、オバ鉱山・地質大臣、ガノンゴ財政・予算大臣、ディム運輸・民間航空大臣との間で、クウィルー県ムブクマシのカリウム鉱山開発に係る合意に署名した。

4 外交

(1) 二国間

ア 中国 (ポワント・ノワール経済特区に係る署名は9月の見込み)

・ 17日、モコキ経済特区大臣は馬駐コンゴ (共) 中国大使と面会し、同国とのポワント・ノワール経済特区開発に係る合意につき、9月の中国・アフリカ協力フォーラム (FOCAC) の機会に署名する予定であることを明らかにした。同開発に係る工事は2019年1月に開始予定。

イ EU

・ 5日、コーエン・ヴェルバエケEUアフリカ特別代表は、サス・ンゲソ大統領と面会を行い、二国間協力及びコンゴ (民) 選挙プロセスに伴う中部アフリカ地域の情勢について議論した。この訪問は、中国企業 Zhengwei technique 社により、総額20億FCFAで新たに建設された新EU代表部の竣工式に合わせたもので、同式典にはムアンバ首相が出席した。

ウ マリ

・ 23日、大統領選を1週間前に控えたケイタ・マリ大統領がブラザビルを訪問し、サス・ンゲソ大統領と会談を行った。

(2) 多国間

ア サス・ンゲソ大統領, AU総会に出席

・6月28日～7月2日にかけて, サス・ンゲソ大統領は, ヌアクショツにて開催された第31回AU総会に出席した。本総会のテーマは「汚職との闘い」であった。

イ アフリカ大湖地域国際会議 (IGGLR) 使節がブラザビルを訪問

・20日, ザシャリ・ムブリ＝ムイタ執行委員を代表とする IGGLR 使節がブラザビルでサス・ンゲソ大統領と面会を行い, 中央アフリカ情勢及びコンゴ(民)選挙プロセスについて意見を交わした。